



教育目標 「なかよく かしこく たくましく」

重点目標 「人とかかわり 互いに高め合う子ども」

合言葉 「すべては子どもたちの笑顔のために」
～ふるさと松代が大好きな子どもたち～



	確かな学力	しなやかな心	健やかな体
めざす子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○新しいことに挑戦し、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける子 ○自分の考えをもち、伝える子 ○仲間とかかわり、粘り強く学習に取り組む子 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりをもって人とかかわる子 ○最後まであきらめず頑張る子 ○自分からあいさつを交わせる子 	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてをもち、仲間と共に進んで運動に取り組む子 ○生活習慣をふり返り、健康づくりに取り組む子
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ○NRT 偏差値平均53 ○国語・算数ワークテスト 平均点80点到達のテストが85%以上 ○児童アンケート 「できるようになったこと・分かるようになったことが増えた」 「自分の考えを伝えている」 「平日は毎日家庭学習に取り組んでいる」 肯定的評価95%以上 <p>※肯定的評価：4段階の回答のうち、 Aとてもそう思う Bそう思う の割合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ見逃し0 全案件早期解決 ○Q-U「学級生活満足群」 ・インクルーシブライン内の児童 全クラス90%以上 ○児童アンケート ・「自分には良いところがある」「自分は家族や友達と力を合わせようとしている」 肯定的評価85%以上 ・「苦手なことにも挑戦しようとしている」 肯定的評価85%以上 ・「自分の気持ちを誰かに伝えることができる」「家庭・地域で自分からあいさつしている」 肯定的評価90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケート ・「めあてに向かって進んで運動している」 ・「家庭のメディアのルールが守られている」 肯定的評価90%以上 ○すこやかカード ・生活習慣に関する個人の目標達成率80%以上 ・メディアの約束に関する個人の目標達成率 肯定的評価 90%以上
努力事項	<ul style="list-style-type: none"> ○「わかる」「できる」授業づくり ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進 ・授業実践に基づいた職員研修の充実 ・子どもたちの対話がある学習活動 ・授業のユニバーサルデザイン化 ・子どもの実態に応じた表現方法の工夫 ・ICTを活用した授業改善 ○家庭学習の習慣化「学年×10分以上」 ○読書活動の推進 (朝読書 読み聞かせ 家読) ○ふるさと教材の活用 (生活科 総合) 	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uを活用した「居心地のよい学級づくり」の推進 ○自己有用感が高まる学級づくりおよび児童会活動 (異学年交流) ・一人一人に合った役割分担 ・チャレンジ班活動の充実 ○人権教育、同和教育の推進 ○「考え、議論する」道徳の推進 ○ソーシャルスキルトレーニングの計画的な実施 ○地域との交流活動 ○あいさつ習慣を育む活動の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テストの結果をふまえた授業改善 (めあてカードの活用等) ○運動をしたくなる環境づくり ○仲間とかかわり、楽しみながら運動できる体育的活動の工夫 (授業、児童会活動、行事等) ○学校給食を中心とした食育の充実 ○すこやかウィークの実施 ○メディアコントロールの力を育む活動の推進

一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の充実

保護者や地域、関係機関との連携

- PTA、後援会、各振興会、児童民生委員会等による支援体制の充実
- コミュニティスクールを基盤とした、保小中一貫教育の充実